

# 現代の経済

## 日本の社会保障と労働問題

10 日本の社会保障と労働問題に関する次の文章を読み、あとの各問いに答えよ。

現行の日本国憲法は、社会権の一つとして第25条で生存権を規定し、社会保障に対する国の責務を明らかにするとともに、その理念に基づいて社会保障制度が整備されてきた。日本の社会保障制度は、公的扶助・社会保険・社会福祉・公衆衛生の四つの柱から成り立っている。公的扶助は、最低限度の生活を維持するのが困難な国民に対して最低限の生活を保障する制度で、1946年には( 1 )が制定された。社会保険は、病気・失業・老齢などに対応して給付を行う保険システムである。この社会保険については、1961年に「国民皆保険・皆年金」制度が実現し、さらに1973年には高齢者医療費の( 2 )や、年金への物価スライド制などが導入されて、この年は「福祉元年」と呼ばれた。しかし1970年代後半になると、財政負担の増大や高齢化の進行などにより、社会保障制度の見直しが叫ばれるようになった。

その具体策として、1983年には老人保健法が施行されて高齢者医療費に( 3 )制度が、また1985年には年金について全国民共通の  制度が導入された。その後も社会保険については、医療保険や年金を中心に制度の諸改革が行われ、2000年4月からは高齢社会に対応した新しい社会保険制度として  制度が導入され、寝たきり、認知症など的高齢者へのサービスが行われている。社会福祉は、各種のハンディキャップをもつ社会的弱者の自立を支える公的サービスで、近年キメの細かい福祉が求められている。

他方、日本国憲法は社会権として勤労権(第27条)や労働三権(第28条)を保障しており、その規定に基づいて労働三法をはじめ各種の労働関係法が制定されてきた。これらの労働立法や労働組合の活動、さらに高度経済成長などを通して労働者の労働条件も改善され、生活水準も向上してきた。また、わが国の高度経済成長やその後の安定成長を支えてきたのが、日本的雇用慣行であった。しかし、1990年代初めにバブル経済が崩壊して不況が長期化する中で経営・労働環境も大きく変化し、雇用問題をはじめとするさまざまな労働問題が見られる。その例として、リストラによる人員削減、アルバイト・パート労働者や派遣・契約労働者など非正規社員の増加、雇用のミスマッチ現象、長時間のサービス残業、外国人の就労問題などがあげられる。少子高齢化が進む中で最近では、フリーターや、学校にも行かず、働きもせず、職業訓練にも参加しない  と呼ばれる若者の増加も懸念されている。

問1 空欄  ~  に該当する最も適切な語句を、 ・  は漢字4字で、 はカタカナ3字で記せ。

問2 空欄( 1 )~( 3 )に該当する最も適切な語句を、次の中から選び、符号で答えよ。

- ア. 自由化    イ. 国民保険法    ウ. 無料化    エ. 逆行    オ. 制限化  
カ. 生活保護法    キ. 全額自己負担    ク. 全額公費負担    ケ. 全額有料化  
コ. 社会保障法    サ. 一部自己負担

問3 下線部①に関して、かつて朝日訴訟において最高裁判所は「憲法第25条の生存権の規定は、国民に国の責務や理念を示した政府の指針にすぎず、国民に具体的権利を保障したものではない」と判示した。こうした判断は一般に何と呼ばれるか。次の空欄に該当する最も適切な語句を、カタカナ5字で記せ。 「規定説」

問4 下線部②に関して、国連は高齢社会についてどのように定義しているか。最も適切なものを、次の中から選び、符号で答えよ。

- ア. 60歳以上の人口が総人口の10%を超えた社会
- イ. 65歳以上の人口が総人口の7%を超えた社会
- ウ. 65歳以上の人口が総人口の14%を超えた社会
- エ. 70歳以上の人口が総人口の30%を超えた社会

問5 下線部③に関して、高齢者や障害者などのハンディキャップをもった人たちも、健康者や若い人たちと同じようにふつうの日常生活を送ることができる社会をみざす考え方を何というか。次の中から選び、符号で答えよ。

- ア. ユビキタス
- イ. バリアフリー
- ウ. ノーマライゼーション
- エ. インフォームド=コンセント

問6 下線部④に関して、その一つである現行の労働基準法に定められている内容として最も適切なものを、次の中から選び、符号で答えよ。

- ア. 男女同一賃金の原則を保障し、就職・昇進面などにおける女子差別を禁止している。
- イ. 女子の時間外労働規制については撤廃しており、男子と対等としている。
- ウ. アルバイト・パート労働者などの非正規社員は、法律の対象外であるとされている。
- エ. 労働者の最低賃金について、業種・地域ごとにキメ細かく定めている。

問7 下線部⑤に関する記述として適切でないものを、次の中から一つ選び、符号で答えよ。

- ア. 新規学卒者を採用して、原則として定年まで雇用する終身雇用制がとられてきた。
- イ. 年齢や勤続年数に応じて賃金が上昇する年功序列型賃金制が実施されてきた。
- ウ. 大企業の多くでは企業別労働組合が組織され、労働条件の改善がはかられてきた。
- エ. 65歳定年制や職能給などとともに、ワークシェアリングも導入されてきた。